

◆ スプリングコートは春だけではありません！

今年は2月4日で立春を迎え、暦上では季節は春。季節が春に変わり始めましたがまだまだ寒い日が続いていますよね。春一番が吹いて暖かくなったと思ったらまた冬に逆戻り、こうした三寒四温を繰り返し徐々に春らしくなっていきます。**まだまだ寒暖の差が激しいこの季節、苦勞することの1つがアウター選び**。私もこの時期、天気予報を見ながらその日のアウターに頭を悩ませます。寒い日はまだウールのコートを着ますが、暖かい日はスプリングコートのような軽いコートを着る機会が増えます。

このスプリングコートって実はすごく便利なのです。冬～春、秋口～冬と年間で6カ月ほど着ることが出来るのです！スプリングコートという名前の響きから春にしか着ることができないような印象がありますがそんなことはありません。真冬と真夏を除く季節に活躍してくれるのがこのスプリングコートなのです。特に今は寒くなる時期が遅くなっているので冬物のコートが必要になる直前まで着ることが出来るのがこのスプリングコート。

スーツには3シーズンという言葉がありますが、スプリングコートとはまさに3シーズンのコートと言えます。

又このスプリングコートはカジュアル着としても十分に着ることが出来ます。私も休みの日にはデニムにニットを着て、上にスプリングコートを羽織り出かけることも多いです。イルサルトでも毎年スプリングコートのご注文を沢山いただいています。冬のコートと違うところは『とにかく軽く仕上げること』。これに注意することによって、冬物コートとは違ったスプリングコートらしさを出すことが出来ます。

◆ まずはこだわるべきは生地！

スーツ、ジャケット、色々なアイテムがありますが、中でもコートは『使う生地の量』が最も多く『生地そのものを纏っている』と言っても過言ではありません。即ち経営者のスプリングコート選びを考える上で最優先すべきは『生地を厳選する』ことにあります。

また以前にイタリア人に言われたことで印象的な言葉があります。

『コートは防寒だけのものではない。ホテルやレストランのクロークに預ける時のことも考えなくてはならない。だからステイタスシンボルとしてふさわしいものを着ていなくてはいけないんだ。寒ささえしのげれば何を着ていてもかまわない、という考え方は本当の紳士ではない。』

冬物コートとの一番の違いは『着る季節』。冬のコートとは違い、とにかく軽く仕上げることでスプリングコートらしさを出すことが出来ると先ほどお話させていただきました。そこでオススメなのが清涼感と軽さを感じさせるコットン(綿)素材です。このコットン(綿)素材を使うことで重苦しさを感じさせないカジュアルまで使えるスプリングコートが出来上がります！

◆ 色を楽しもう！

そしてもう1つスプリングコートを着こなすコツが『色』。冬のコートは黒や紺などダークな色が非常に多いです。でもスプリングコートは積極的に色を取り入れてほしいのです！というのもスプリングコートを纏う季節が夏→秋、冬→春のような季節の変わり目。色を取り入れることで季節の移りかわりを装いでも楽しみ、変化を敏感に感じる事が出来るからなのです。**自分自身の装いに敏感になる、このことは思っている以上に色々な好影響を与えます。自分自身に敏感になることで様々な事象の変化により気づくようになるのです。**スプリングコートでは是非色を取り入れていきましょう！

◆ 形は全部で6種類

イルサルトでお仕立て頂けるスプリングコートは全部で6種類(シングルチェスターコート、ダブルチェスターコート、バルマカーンカラーコート、ポロコート、ラグランコート、サファリジャケット)それぞれが形に特色のあるコートなので順番に説明をしていきますね！

① シングルチェスターコート

19世紀に英国でチェスターフィールド伯爵が初めて着たとされている伝統的なコート。冠婚葬祭～ビジネスシーンまで幅広く使うことの出来る、男性のコートの中で最もフォーマルな形です。ジャケットが少し長くなったような形をしており、エレガントにお召し頂く場合はコートの長さを長く、カジュアルな雰囲気

の生地であれば膝くらいの丈で仕上げると◎です。

以前に比べコートの着丈が長くなってきていますので、仕事メインで考える場合は少し長めの丈でお仕立てされるのをオススメします。

